

コ マ ツ

適用範囲	モデル名		D31EX-22	D31PX-22	D37EX-22	D37PX-22	
	仕様		パワーステアリング パワービルト	パワーステアリング パワービルト	パワーステアリング パワービルト	パワーステアリング パワービルト	
	適用号機		60001～	60001～	60001～	60001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドル ローアイドル トルコンストール状態 （冷却水温） （作動油温）	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ （℃） （℃）	2350～2450 950～1000 — （75～94） （40～60）	2350～2450 950～1000 — （75～94） （40～60）	2350～2450 950～1000 — （75～94） （40～60）	2350～2450 950～1000 — （75～94） （40～60）
		エンジン油圧 （油温） （回転速度）	KPa kg/cm ² （℃） (min ⁻¹)	490～690 5.0～7.0 （90～110） （2400）	490～690 5.0～7.0 （90～110） （2400）	490～690 5.0～7.0 （90～110） （2400）	490～690 5.0～7.0 （90～110） （2400）
		弁すき間 吸気弁すき間 排気弁すき間 〔測定条件〕	mm mm []	0.35 0.50 〔常温〕	0.35 0.50 〔常温〕	0.35 0.50 〔常温〕	0.35 0.50 〔常温〕
		圧縮圧力 （冷却水温） （回転速度）	KPa kg/cm ² （℃） (min ⁻¹)	2900 30.0 （75～94） （320～360）	2900 30.0 （75～94） （320～360）	2900 30.0 （75～94） （320～360）	2900 30.0 （75～94） （320～360）
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm [N kg]	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
	動力伝達装置	インチング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— — HST	— — HST	— — HST
		トランスミッション		KPa kg/cm ²	—	—	—
			ハイドロ シフト型	KPa kg/cm ²	—	—	—
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	HST	HST	HST
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	HST	HST	HST
			（ミッション油温） （エンジン回転速度）	（℃） (min ⁻¹)	HST	HST	HST
		プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	HST	HST	HST
ステアリング装置	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0
		ステアリングクラッチ油圧 （油温）	KPa kg/cm ² （℃）	HST	HST	HST	HST

検査基準値							
—							
—							
—							
—							
—							
—							

モデル名

D31EX-22

D31PX-22

D37EX-22

D37PX-22

①

■ 点検

▲ 警告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが20～30mmあれば標準です。

35mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

点検姿勢

②

■ 点検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

③

オイル封入履帯

湿地シュー

★P部はプッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプル履帯（D31S、Q-20用）

※1 シングル履帯

※3 湿地履帯

No.	項目	判定基準
1	リンクピッチ	基本寸法 154.25 許容限度 157.25
20	シューボルト	a. レギュラリンク b. マスタリンク 締め付けトルク (Nm (kgm)) 増し締め角 (度) 下限トルク (Nm (kgm)) 147.1±19.6 (15±2) 147±19.6 (15±2) 180±10 255 (26)

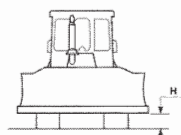
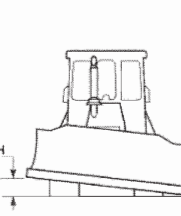
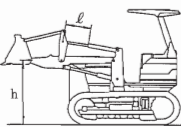
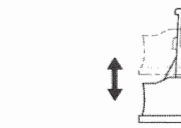
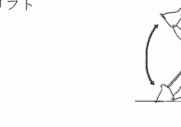
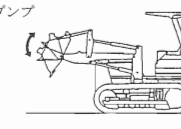
乾式履帯

★P部はプッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプル履帯（D31S、Q-20用）

※1 シングル履帯

※3 湿地履帯

No.	項目	判定基準
1	リンクピッチ	基本寸法 154.25 許容限度 157.25
20	シューボルト	a. レギュラリンク b. マスタリンク 締め付けトルク (Nm (kgm)) 増し締め角 (度) 下限トルク (Nm (kgm)) 147.1±19.6 (15±2) — 60±10 —

項目	測定条件	単位	新基準値	車値	故障判定基準値
④ 自然降	ブレード	 ★ブレード地上から 300mm	mm	100	—
	ブレードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばいに上げる ・上記の姿勢からブレードの降下量hを測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する	mm	100	—
⑤ 下量	バケット リフトアーム	 ★リフトアーム上面、バケット底部水平 ・上記の姿勢からダンプシリンダの伸び量とおよびバケットヒンジピンの降下量hを測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する	mm	100	—
	バケツ	 h	mm	10	—
⑥	ブレード ・接地 上昇限		秒	2.1	—
	バケツ ・接地 上昇限 ・ダンプ限 ・チルトバック限	 リフト  ダンプ ★リフトアーム上面水平 ・水平・平坦地 ・エンジンフル ・作動油温：40～60℃	秒	5.9	—
⑦			チルトバック		